

桜の代表は「ソメイヨシノ」？

JJ1SXA 池

季節は、もうすぐ夏本番、時期はとっくに終わりましたが桜の話題です。

今年の花見は、去る3月6日の日曜日、昭和記念公園の満開の桜の下、花を愛で、酒を酌み交わしましたが、天気は快晴、VYFBな花見の会でした。

日本の代表的な花の一つである桜、その桜の代表は、「ソメイヨシノ」と思っていましたら、専門家の話では、半分正解、半分不正解なのだそうで、理由は、ソメイヨシノは野生の桜から生まれた園芸種だからだという事ようです。

国内の野生の桜の基本的な種は8種類で、それらをもとに数多くの園芸種が作られたようです。

基本的な種は、エドヒガン、オオシマザクラ、マメザクラ、タカネザクラ、カスミザクラ、オオヤマザクラ、チョウジザクラ、ヤマザクラの8種で、ソメイヨシノは、エドヒガンとオオシマザクラの雑種、またエドヒガンとマメザクラの雑種にはコシノヒガンザクラ、ホシザクラ、ヤブザクラ等があるそうです。

この他、オオヤマザクラの変種にキリタチヤマザクラ、チョウジザクラの変種にキビチョウジザクラ等があり、シダレザクラはエドヒガンの仲間だそうで、多種多様で難しいですね。

まだまだ、新種が発見されているようですが、専門の研究者は、花びらの裏にある「がくの形」や、「葉の縁の形」、「染色体」、「遺伝子構成」を調べ、DNAまで調査、比較をするようで、大変ですね。

私の知っているのは、ソメイヨシノとヤマザクラ、それにシダレザクラ位のもので、知識の乏しさが嘆かれます。

それにしても、殆んどの桜は、蕾が開き始めたと思ったら、すぐ満開、そしてあっという間に散ってしまいます、「おお桜よ、儂き命」ですね。

桜に関しては、その昔、「…見事散りましよう、国の為…」などと言う歌に、感激を覚え、桜に錨の7つボタンに憧れを抱き、ジハードを信じきっていた幼少の時代がありました。(幸か不幸か、年齢が間に合いませんでした **hi**)

もう一つ昔話、「サクラサク」とか「サクラチル」などという電報、それも「ウナ電」で打っていた人達もありましたが、今は、そんな電文が何を意味するか、「ウナ電」の意味も分からない人の方が多い事でしょうし、電報を打たなくても、リアルタイムでつながり、喜びの画像まで送れる携帯電話が幅を利かせる時代になっています。

然し、そんな時代でも、やはり桜は、日本を代表する花です。